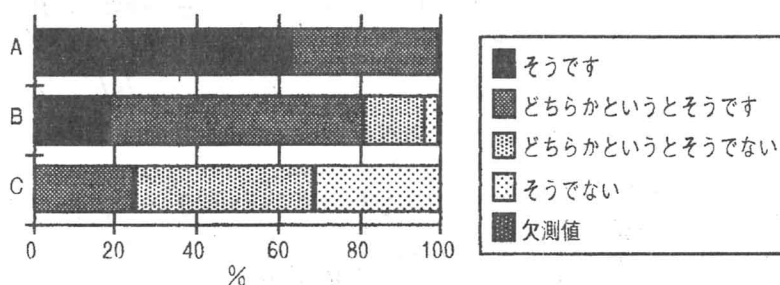
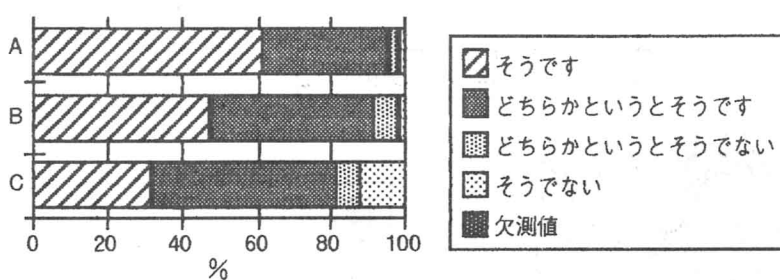


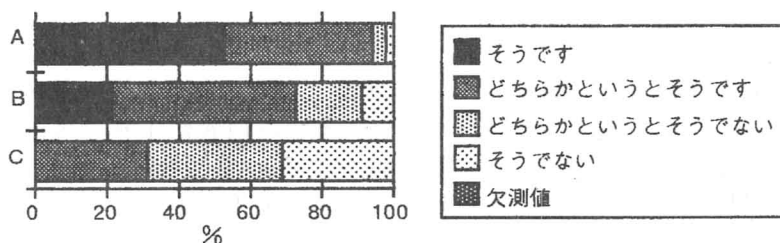
数学は「なぜそうなるかが分かる」ことがその中心だと思うか（意識別2年）



数学は1つの問題についての解き方がいろいろあると思うか（意識別2年）



数学は将来の生活に役立つ教科か（意識別2年）



すべての質問について、数学に対して否定的な意識を持つ生徒ほど、肯定的な回答が減少する傾向が見られるが、「楽しい教科か」と「分かりやすい教科か」については、Cグループに否定的な回答が特に多く（「そうではない」が81～88%）、次いで「こつこつ勉強すると得意になれる教科か」と「なぜそうなるかが分かることが中心か」にやや強い同様の傾向が見られる（Cグループの「そうではない」と「どちら～ない」の合計が75～88%）。

(2) 数学に対する好き嫌いについて

数学を好きであるとする生徒は、嫌いであるとする生徒よりもやや多く、特に、中学1年時には75%を占める。しかし、2年になると約半数が数学嫌いになってしまい、その後回復することがない。好き（嫌い）になった時期を見ても、中学1～2年時をピークに好き嫌いが両極化する傾向がはっきり読みとれる。

好きな理由を見ると、「授業がよくわかる」が最も多く、一方、嫌いな理由でも「授業が分からないから」、「複雑な感じがするから」が多いなど、好き嫌いの要因として、「授業」が大き